

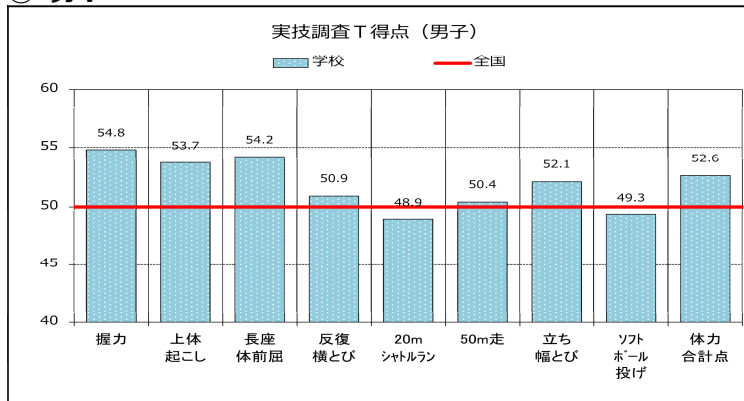


今日は暦の上での春の始まりを指す「立春」です。昔から二十四節気の1番目として大切にされてきた日です。そして、昨日は節分でしたので、豆まきをしたご家庭も多かったのではないのでしょうか。

さて、今回は1学期に全国の小5と中2を対象に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果概要をお伝えします。学齢期は「知・徳・体」の調和のとれた成長が大切です。本校の教育目標の一つである「たくましい子」の実現に向け、子供たちに望ましい運動習慣、生活習慣が身に付くように、ご家庭と協力して体力向上に向けた取組を今後も進めていきます。

1 体力テスト結果（各種目及び合計点） ※全国を50としたときの本校の相対的位置

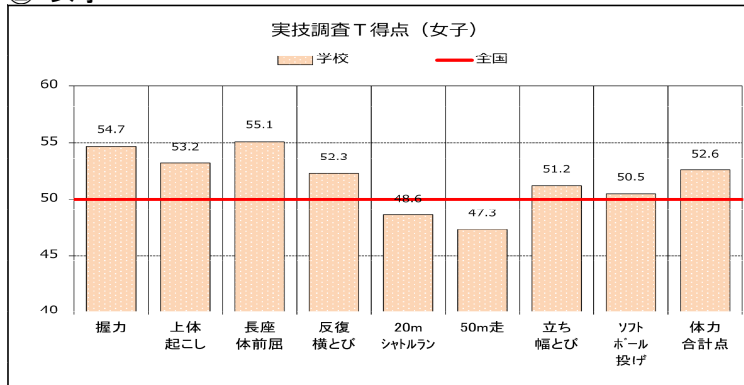
① 男子



男子の体力合計点は全国・県を上回りました。

種目別に見ていくと、筋力（握力、上体起こし、立ち幅跳び）、柔軟性（長座体前屈）、疾走能力（50m走）、敏捷性（反復横跳び）は高く、全身持久力（シャトルラン）と投球能力（ソフトボール投げ）がやや低くなっています。

② 女子

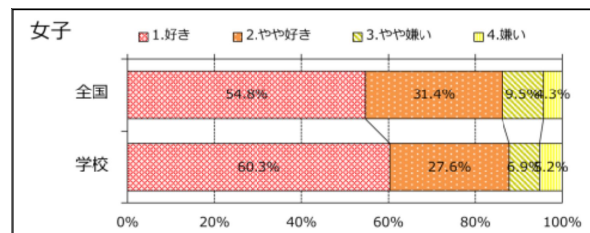
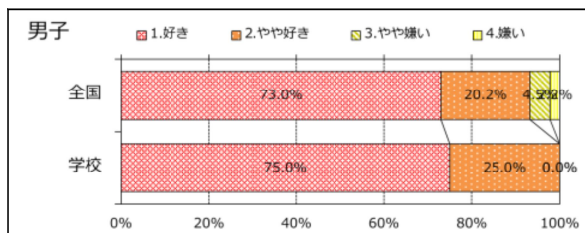


女子の体力合計点は全国・県を上回りました。

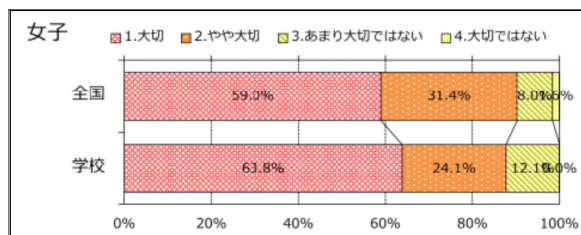
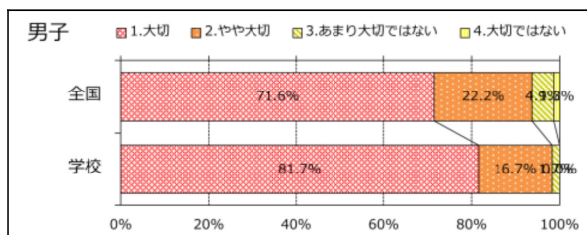
種目別に見ていくと、筋力（握力、上体起こし、立ち幅跳び）、柔軟性（長座体前屈）、敏捷性（反復横跳び）は高く、疾走能力（50m走）、全身持久力（シャトルラン）がやや低くなっています。

2 児童質問紙結果（運動への意識、運動量、基本的な生活習慣、体育の授業への取組等）

Q:「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」

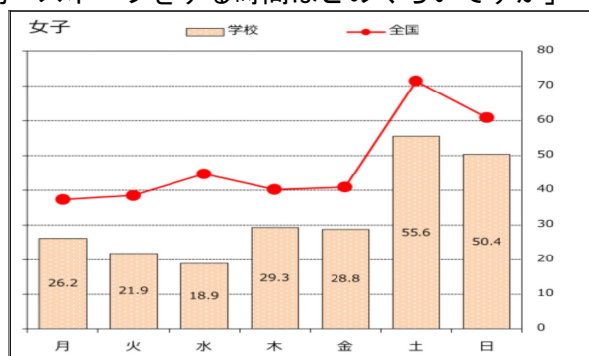
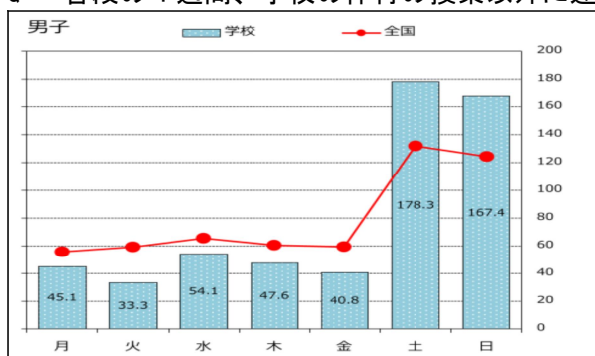


Q:「あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか」

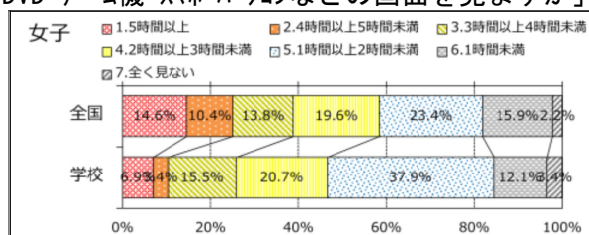
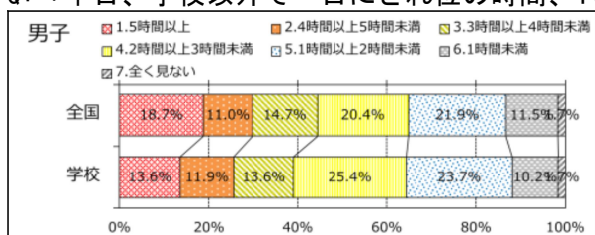


運動に対する意識が高いようです。生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する基礎を養う小中学生を大切に過ごしたいものです。体を動かすことは、身体能力を身に付け、情緒的・知的発達を促します。そのことも子供たちが少しずつ理解できるように指導していきます。

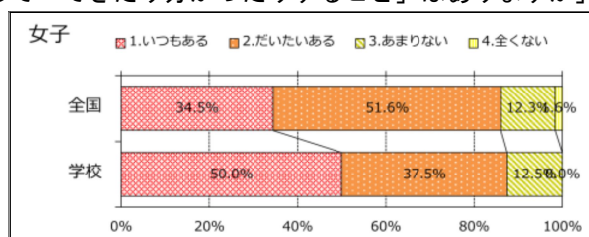
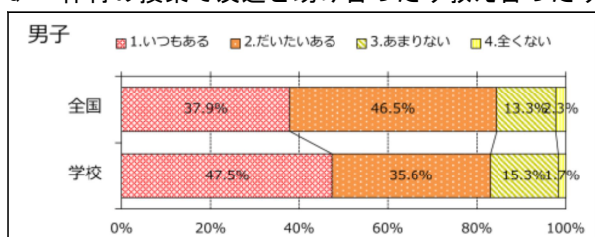
Q:「普段の1週間、学校の体育の授業以外に運動・スポーツをする時間はどのくらいですか」



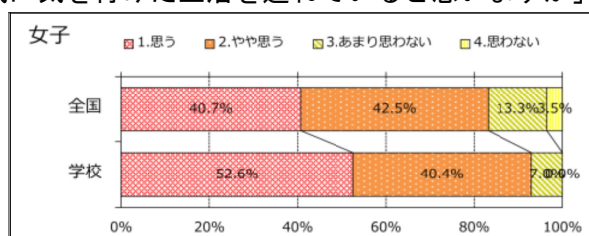
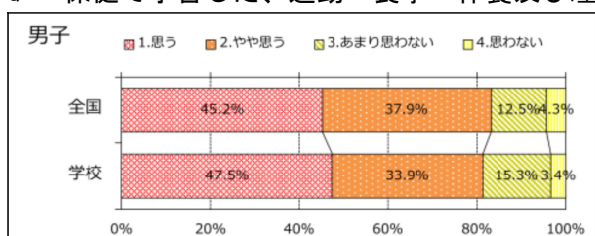
Q:「平日、学校以外で一日にどれ位の時間、TV・DVD・ゲーム機・スマホ・パソコンなどの画面を見ますか」



Q:「体育の授業で友達と助け合ったり教え合ったりして「できたり分かったりすること」はありますか」



Q:「保健で学習した、運動・食事・休養及び睡眠に気を付けた生活を送れていると思いますか」



体力テストの結果は全国・県を上回っていますが、一方で一週間の総運動量がやや少ないこと、運動量の2極化という現実もあるため、学校では、まず一人一人の運動量を確保するとともに、仲間とかかわる楽しい体育授業で子供が進んで運動に親しんでいく態度を育てます。ご家庭でも親子で運動に親しむ機会を作っていただき、「運動・睡眠・食事」のバランス、適切なゲーム・スマホの使用時間、徒歩による通学にもご配慮いただけるとありがたいです。